



意見交換会を

今年も 開催しました

市民の皆様の多様な意見を議会活動に生かしていくため、常任委員会ごとに関係する団体と意見交換会を行いました。
意見交換会の報告は6頁に記載しています。

総務常任委員会

国際交流協会



文教民生常任委員会

青少年相談員連絡協議会



環境経済常任委員会

消防団本部



Point 1

千葉ニュータウン事業に係る道路等の整備は負担金で市が行います

Point 2

リース、保守点検等の長期契約期間を最長7年に延長します

Point 3

文化会館は月曜日以外の祝日も開館します

Point 4

梨の育苗センター支援事業に交付金を活用します

12月定例議会

第4回定例会は、11月24日から12月17日まで、24日間の会期で開きました。
今定例会には、第5次総合計画前期基本計画や補正予算など議案21件が提出され、20件が原案可決となりました。
前期基本計画については、「北総線運賃対策をはじめ」の一文を追加し、可決となりました。その内容については、3頁に記載しています。
また、審議結果一覧については、3頁に掲載しています。

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は

2月15日(月)

午前10時の開会です。



〔議案第2号〕千葉ニュータウン事業に係る白井市道等整備基金条例の制定について

Point 1
千葉ニュータウン事業に係る道路等の整備は負担金で市が行います

千葉ニュータウン事業の収束に伴い、道路整備が都市再生機構と企業庁では困難となったことから、道路等の整備負担金で白井市が整備を行うための基金を管理する条例を制定します。

主な質疑

- Q 基金額の確定と使途は。路線ごとに単価を計算します。執行段階では余れば違う企業庁分に充当し、足りない場合は他の企業庁分を充当します。都市再生機構分も同様に対応します。負担金が多った場合は返金を求められますか。
- A 単価、工事費、補償費等を最新のものとで積算し、確定した後の変更はなく、現在のところ返金はないと聞いています。



〔議案第5号〕白井市長期継続契約に関する条例の一部を改正する条例の制定について

Point 2
リース、保守点検等の長期契約期間を最長7年に延長します

庁用車のリース契約期間を延長し、経費節減を目的としています。

主な質疑

- Q 5年から7年に延長しようとしている契約はどのようなものですか。
- A 庁用車は7年に延長し、パソコン、コピー機のリース、ソフトや保守点検等は5年、庁舎の総合管理等の委託は3年です。
- Q 7年に延長する事で金銭的にどれだけのメリットがありますか。
- A 96台の車両のうちリースは46台です。平成26



〔議案第6号〕白井市文化会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

Point 3
文化会館は月曜日以外の祝日も開館します

文化会館の祝日の使用料を追加するものです。祝日の使用料は、土曜、日曜日と同額です。

主な質疑

- Q 祝日を開館する要望はありましたか。
- A 市民からの要望はありませんでした。近隣のほとんども祝日開館しており、検討してきました。近年、土日のホール利用は増加していますか。
- A 利用率は若干下がっています。鎌ヶ谷市に新しい会館がオープンしたためと捉えています。
- Q 収入の見込みはどうですか。
- A 80万円ぐらいの増額を見込んでいます。



〔議案第15号〕平成27年度白井市一般会計補正予算（第5号）について

Point 4
梨の育苗センター支援事業に交付金を活用します

国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用して梨の苗木の育苗センターやホワイトフェスティバル実行委員会へ補助金を支出します。

質疑意見など

- Q 育苗センターの運営はどこが行いますか。
- A 白井市梨業組合です。ホワイトフェスティバルの具体的な内容は、白井駅前で白井をイメージさせるようなフェスティバルを行う予定です。具体的な内容は実行委員会を結成して検討します。
- 賛成 国が大急ぎで予算をつけ、市も非常に知恵を絞って事業を組み立てたと評価します。補助金の打ち切りを見据えて事業を進めて欲しいと思います。
- 賛成 半分いかかなものかと思うところもありますが、将来的に大事なことだと思います。



平成26年度決算を認定

皆さんが納めた税金がどのように使われたか、決算審査特別委員会を開催し、審査・確認しました。一般会計・特別会計・水道事業会計決算を認定しました。

質疑意見など

- Q 循環バスの運行改定から1年経過しています。評価は。
- A ルート改正により利用者増につながっているのとみています。
- Q こころの相談事業の相談内容と、医療機関につないだ実績は。
- A 精神保健福祉士と医師による相談を行っています。精神保健福祉士は対人関係、医師は治療や受診など、相談内容は多岐にわたります。内容に応じ、医療機関や福祉サービスにつないでいます。
- Q 国保税の徴収率が低い状態が続いていますが対策は。
- A 納税相談や分割支払いなどを行っています。工業団地アクセス道路事業の進捗状況は、土質調査を行いました。田んぼに道路を造る箇所を再調査予定です。道路排水は設計委託で検討しました。
- Q 農業研究会事業の内容成果は。
- A ブランド化のPR研究や栽培技術講習会などに取り組んでいます。市民大学の状況は、昨年度は健康生活学部24名、シニア学部30名、しろい発見学部25名が入学しています。
- 賛成 北総鉄道株式会社への補助金は差別的運賃体系にお墨付きを与える結果となり、高運賃問題の抜本的解決の妨げとなりました。解決には交通選択肢の拡充が最善手です。循環バス利用者が新鎌ヶ谷アクセスを中心に増加している事からも明らかです。また子どもの健康施策、文化、保健体育施策においても反省や創意工夫が求められます。
- 反対 財政見通しで財政調整基金が枯渇するばかりかマイナスとされ、厳しいと思います。重点事業から、安全・安心の子育て、福祉、市民が健康で活躍できるまちづくりを目指しての取り組みであると評価できます。
- 賛成 赤字も無く、実質公債費比率も前年度より減少、下水道特別会計においても資金不足は無いが、財政調整基金残高が今後の健全化の判断比率に影響を与えないよう配慮を求めます。北総鉄道値下げ支援、梨の降雪災害回避の助成、雨水対策、住宅リフォーム助成など各事業で推進が図られた点を評価します。

〔議案第14号〕 白井市第5次総合計画前期基本計画について

まちづくり協議会は各小学校を基準に区域内の自治会、町内会、団体や組織が尊重し合い、緩やかな協働、連携をすることが目的です。

地域が対応できる課題を地域で議論し解決していく趣旨で5年間の核となる施策です。

第4次総合計画の成果や課題を含め、基本計画の策定に具体的にど

子どもの健康を見守る戦略はどこに読み取れるのでしょうか。

Q ①—2 (左表) で北総

します。

原案 戦略3-2-(3) 地域拠点がにぎわうまちづくり	修正案①-1	修正案② 可決
地域の拠点を舞台として、市民それぞれが持つ能力を活かし、<u>見守り・家事サービスなどの身近な生活サービスが提供されるしくみをつくります。</u>	地域の拠点を舞台として、市民それぞれが持つ能力を活かし、<u>人口減少や少子・高齢社会に対応し、障がいがある人も誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指します。</u>	住民意識でも一番重要で、不満と出る北総線問題であり市民の強い意思をくむ形で前進すべきと考え明記を希望しました（提案者）。
原案 戦略3-3-(3) 拠点がつながるまちづくり	修正案①-2	修正案②
拠点間を移動しやすいよう、循環バス・鉄道など交通ネットワークの利便性の向上を進めます。	拠点間を移動しやすいよう、<u>北総線高運賃対策をはじめ</u>、循環バス・鉄道など交通ネットワークの利便性の向上を進めます。	拠点間を移動しやすいよう、<u>北総線運賃対策をはじめ</u>、循環バス・鉄道など交通ネットワークの利便性の向上を進めます。

○は賛成 ×は反対 ーは採決に参加

	議案等 番 号	件 名	付 託 委員会名	審 議 結 果	市民の声		市民自治ネットワーク			白井の夢		公明党		しろい政和					NT 2 1			日 本 共産党	議長
					福井	小田川	柴田	影山	竹内	永瀬	多田	幸正	石井	植村	斉藤	石田	長谷川	血脇	秋谷	田中	平田	広沢	和田
第4回定例会	継続 議案 13	平成 26 年度白井市歳入歳出決算の認定	決算審査 特別委員会	認定	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—
	継続 議案 14	平成 26 年度白井市水道事業会計決算の認定	決算審査 特別委員会	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案 1	白井市行政手続における特定の個人を識別するための 番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の 利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定	総務 常任委員会	原案可決	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案 2	千葉ニュータウン事業に係る白井市道等整備 基金条例の制定	環境経済 常任委員会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案 3	白井市税条例の一部を改正する条例の制定	総務 常任委員会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案 4	白井市国民健康保険税条例等の一部を改正す る条例の制定	文教民生 常任委員会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案 5	白井市長期継続契約に関する条例の一部を改 正する条例の制定	総務 常任委員会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案 6	白井市文化会館の設置及び管理に関する条例 の一部を改正する条例の制定	文教民生 常任委員会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—
	議案 7	白井市学習等供用施設の設置及び管理に関す る条例の一部を改正する条例の制定	文教民生 常任委員会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案 8	白井市家庭的保育事業等の設備及び運営に関す る基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	文教民生 常任委員会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案 9	白井市介護保険条例の一部を改正する条例の 制定	文教民生 常任委員会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案 10	白井市地区計画の区域内における建築物の制 限に関する条例の一部を改正する条例の制定	環境経済 常任委員会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案 11	白井市西白井公民館、白井市西白井児童館及び 白井市西白井老人憩いの家の指定管理者の指定	文教民生 常任委員会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案 12	白井市桜台公民館及び白井市桜台児童館の指 定管理者の指定について	文教民生 常任委員会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案 13	白井市青少年女性センター、白井市老人福祉セ ンター及び白井市福祉作業所の指定管理者の指定	文教民生 常任委員会	原案可決	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	
	議案 14	白井市第5次総合計画前期基本計画	基本構想・ 基本計画に 関する調査 特別委員会	修正可決	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	
	議案 15	平成 27 年度白井市一般会計補正予算(第5号)	—	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案 16	平成 27 年度白井市一般会計補正予算(第6号)	各常任 委員会	原案可決	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案 17	平成 27 年度白井市国民健康保険特別会計事 業勘定補正予算(第1号)	文教民生 常任委員会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案 18	平成 27 年度白井市介護保険特別会計保険事 業勘定補正予算(第3号)	文教民生 常任委員会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案 19	平成 27 年度白井市学校給食共同調理場事業 特別会計補正予算(第2号)	文教民生 常任委員会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 20	平成 27 年度白井市水道事業会計補正予算(第 2号)	環境経済 常任委員会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議案 21	平成 27 年度白井市一般会計補正予算(第7号)	—	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議員提出 のもの		白井市第5次総合計画前期基本計画に対する 委員会修正案	—	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	

市政のここが知りたい

竹内 陽子議員

学校に福祉専門家

スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置を

問 児童生徒の長欠、不登校の要因の一つとなっているいじめ、貧困等の問題から学校にSSWの配置をどのように考えていますか。

答 ここ数年小学校低学年の不登校が増え、平成27年10月現在、中学校の長欠、不登校は96人で、大きな課題と捉えています。今年度、専門的な知識、経験を持つSSWを事例により2回呼んでいます。基本的には担任と学年主任等で組織的に解決しています。今後、北総教育事務所管内に1名いるSSWが2名ぐらいになれば良いと考えています。

地域包括ケアシステムの構築に向けて

問 医療と介護の連携を進める地域包括ケアシステムをどのように構築していくお考えですか。

答 病院や介護施設による訪問診療、訪問介護・看護、さらに定期巡回・随時対応型訪問介護・看護等の実施が提案されており、地域医療機関等と市の連携も含め進めていき、認知症の支援体制も検討していきます。

平田 新子議員

放課後児童クラブ（学童保育）の現状と今後

現状と今後

問 本年4月、厚生労働省が新たな指針を発表しましたが市の学童保育の現状は。

答 8小学校に計11か所、市が施設を準備し、保護者による運営委員会が運営を行い、現在543名の児童の利用があります。

問 指導員の配置人数、児童一人当たりの面積、保育料等に大きなばらつきがある中、保護者の多大な負担も考えあわせ、どのような

対応を検討していますか。

答 8月に既に各学童保育所の保護者への説明会を開き、市の統一仕様作成のため、備品運営実態把握に関わる調査依頼、連絡員の選出をお願いしております。

問 統一基準の作成、業務委託・指定管理など課題も多い市が目指す学童保育のあり方を市長に伺います。

答 保護者の意見を踏まえ公平性の確保や保護者の負

斉藤 智子議員

スポーツを通じた健康増進への取り組み

問 市内における総合型地域スポーツクラブの活動と効果について伺います。

答 総合型地域スポーツクラブは、現在市内全中学校区4つ、障がい児のためのスポーツクラブと合わせ5つの団体が活動しています。テニスや卓球、グラウンドゴルフやウォーキング、筋トレ、ストレッチなど幅広い活動が行われています。また、地域住民が主体となり、地域の連携や世代間交流と地域社会の活性化を目的として活動しています。



総合型地域スポーツクラブ

問 白井市が協定を結んでいる順天堂大学と市内の小

14人（27項目）の質問があり、その要約を掲載しました。詳細については、会議録をご覧ください。この記事は各議員が作成しています。

植村 博議員

公共施設等の自販機設置

問 自販機設置状況は。

答 納付金提案型の公募方式により設置業者を決めています。市が管理している14台で年62万7千500円が納付されています。その他指定管理者等が管理しているものが27台あります。



問 白井総合公園に、設置業者負担の防災・防犯機能付きの自販機設置検討は。

答 公園内の自販機設置は昨年度より検討しています。公園の設置事例を現在収集

高齢者の就労支援

問 市で行っている高齢者に限定した就労支援は。

答 60歳以上の方の就労支援として就活プチボラマツチングイベントを開催しています。60歳以上を雇用できる企業や、ボランティアを募集する団体に参加し、情報提供を行い就労機会の拡大を図るものです。市の無料職業紹介所は3年で4百人の就労実績があります。

柴田 圭子議員

子どもの放射能による影響を見守る体制は

影響を見守る体制は

問 10月に民間団体により白井市内で子ども達の甲状腺エコー検査が行われましたが、希望者が多く、何組もお断りしました。同じく10月に行った市内の公園の土壌測定では、2千500μBqに近いところもありました。福島県では事故前に比べ子どもの甲状腺がんは数十倍多いと専門委員会が認めています。国の方針が出るま

答 何もしないということではよいのでしょうか。

答 幼児健診や健康相談で健康管理をしています。学校健診も行っています。

問 学校健診で放射能の影響を見るために、血液検査の項目を追加することは。

答 考えていません。

問 学校健診のデータを長期保存しておいては。

答 法に則って行います。

地域包括ケアシステムの構築の推進は

構築の推進は

問 介護認定者の過半数近い要支援や軽度の認定者に

前の方を少なくしていく取り組みができればと考えます。

田中 和八議員

特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の現状と支援

問 幼児から中学校までの支援は。

答 就学前のサービスとして通所による療育を行う児童発達支援、就学後は放課後や夏休み等の長期休暇中の療育を行う放課後等デイサービスの提供をしています。インクルーシブ教育システム構築の取り組みも進めており、障がいのある子どもも障がいのない子どもも、出来る限り同じ場で学ぶことを目指すものです。

問 障がいが者に対する市民への理解協力の周知方法は。

答 市の広報やホームページ、理解の推進を目的としたフォーラム、障がい者週間行事の開催等引き続き周知啓発に取り組みます。

「市職員の新規採用と育成・バスの工業団地への運用」についても質問しました。

石井 恵子議員

暮らしに役立つ情報を携帯電話やスマートフォン等で便利に

問 市のホームページにアクセスしなくても手軽に情報入手はできないですか。

答 電子化した広報紙をホームページに接続することなくスマートフォン等で見られる「i広報紙」を平成28年1月から導入します。

問 ゴミの分別アプリとは。

答 スマートフォン等の急速な普及によりゴミの分別方法などを手軽に検索できるアプリです。市民サービス向上の面から導入に向け検討しています。

問 防災行政無線が聞きづらく内容がわからない時は。

答 メール配信サービスに

登録すると防災行政無線の内容がすぐにメール配信されます。

問 子育て支援の情報提供の取り組みはいかがですか。

答 スマートフォン等の普及率が高い子育て世代に有効なアプリ「ちばMyStyler diary」を活用し健康や育児に関する相談など情報を発信しています。平成28年1月から予防接種スケジュールシステムを導入します。これは子どもの生年月日を入力すると予防接種の適正な時期を自動的に知らせ、スケジュール管理をしてくれるアプリです。

福井 みち子議員

子どもの人権を守る

問 子どもの貧困対策は。
答 学習支援を検討しています。
問 貧困・いじめ・虐待・不登校など子どもの人権が侵害されています。子ども権利条例を制定する考えは。
答 子どもの権利条約の精神を尊重し、各種事業を推進していきます。
問 性的マイノリティへの取り組みとして、公文書等への必要な性別記載事項を削除する考えは。児童・生徒への配慮は。
答 公文書で削除できるものは削除していきます。文科省より出された通知文に基づいて学校へ指示・指導しております。

教育振興基本計画を策定せよ

問 教育委員会の制度改革により、市長が教育大綱を策定することになっている。市民への周知、意見聴取は。
答 パブリックコメントを計画しています。
問 教育振興基本計画の策定は。誰が決めるのですか。
答 策定しません。教育委員会には報告しました。

影山 廣輔議員

駅前空間における活性化策を問う

問 9月に西白井駅前広場で実施されたときめきマルシェについて、検証結果は。
答 拠点の賑わいづくりとして今後も期待できる可能性が大きいという結果になりました。一方で、広い会場や駐車場の確保、地元事業者との協力、市民主体の運営に向けた橋渡しが今後



ときめきマルシェ

の課題です。
問 会場へのマイカー以外の移動手段について考えは。
答 循環バスの使える環境づくり等、今後検討します。
問 西白井複合センター利用団体、市民に対するマルシェ参加の訴えかけは。
答 今回声をかけていません。今後の課題となります。
問 駅前空間活性化の担い手はどう確保するのですか。
答 今回参加した25事業者を含め、交流づくりに賛同できる事業者に期待します。
問 西白井駅前が手狭に感じられましたが、交番前の空間利用について考えは。
答 一時利用の申し出があれば承認しています。タクシー・バスの乗降場所の変更に伴う事業者や警察との調整は利用者にお願いくることとなります。一定の公共性をもつ内容であれば市も協力させていただきます。

永瀬 洋子議員

地方公務員法改正による市職員評価制度への影響

問 地方公務員法の一部改正により、新年度からの市職員人事評価制度には変更がありますか。
答 市の職員勤務評定規則は平成18年度に見直し、平成23年度には改正しましたから、今回の法改正には適応できています。
問 法改正により制度の透明性が高くなるとのことですが、評価結果は評価された本人に開示されますか。
答 請求があれば開示します。改正法も積極的開示は求めているはずですが、

市内の農業と農地の現状

問 農業振興は自然環境の保全にも繋がります。農家数が減少している中、農業振興をどう図りますか。
答 農業を守る、農地を守るの二つの側面から考えていきます。まず、特産である梨のブランド化を目指します。農地所有者と農業起業者との間に市が入り、市の信用力によって農地を安心して貸していける方策を考え、農業を守り、緑を守り、郷土の保全を図ります。

中川 勝敏議員

国・県の耐震補助制度利用がすすまないのは

問 県政要望の第1位は4年連続防災問題です。耐震改修がすすまない訳は。
答 対象となる住宅が30年以上経ち老朽化。費用が高額、高齢のためふみきれないなどです。市としては、

す。白井市でのその検討は。
問 先の東北大地震で東京都の救急車の搬送のうち40%が家具類の転倒と聞いています。商工会の暮らしなんでもお助け隊で安心確実な地元の土工さんを活用しています。
問 防災に関するきめ細かな市民対応には「窓口一本化」が必要では。
答 新庁舎建設で防災機能をもった課、危機管理課などの設置を考えています。「特別養護老人ホーム」についても質問しました。

和田 健一郎議員

市の寄付制度の現状と今後の改善策

問 「白井市まちづくり寄附金条例」の試みの趣旨と効果についてお聞きます。
答 趣旨は、個人や団体等から寄付金を募り寄付者の意向を反映した事業を展開したまちづくりに資することです。効果は10月末時点で811万円の寄付が寄せられ増加傾向にあります。
問 また昨年よりクレジットカード、コンビニでの納付なども開始しました。
答 ふるさと納税の返礼品は何か人気商品ですか。
答 一番が梨、次が米、その次がコーヒーセットです。また、返礼品が全国に周知されることで、地場産業の活性化に寄与すると考えております。



問 今後の寄付に関する改善策をお聞きます。
答 寄付のお礼品に梨マラソンの出走権を追加できないか検討しています。「大規模災害時の多岐的連絡伝達手段としてアマチュア無線の活用や、以前存在した駅前伝言板の様な安価にできる手段の可能性」も質問しました。

広沢 修司議員

防災・防犯対策の取り組み強化へ向けて

問 池の上小学校区では、市内で初めて地域住民主体による一泊二日のリアルな防災訓練が実施されました。子ども達も多く参加し、楽しく充実した訓練となりました。
答 池の上小学校区単位として、今後は市内全域に広めたいと考えますが、市はどのような協力ができますか。
答 今後小学校区単位として、たまちづくりを進めていく上で、モデルになる素晴らしい事業であり、市及び教育委員会としても他の地域に広まるよう、取り組みの内容を周知すると共に計画段階からの話し合いへの参加や関係機関との調整、防災機材や井戸の使用等、積極的に支援をしていきます。
問 災害救援自動販売機の導入について伺います。
答 今後、防犯カメラ付き自動販売機及び、ワイファ

イ付き自動販売機の導入等調査検討していきます。
問 高齢者の詐欺被害をどのように防止しますか。
答 現在、振り込め詐欺等の発生を防ぐため、集会等で被害防止を呼び掛けていくところですが、引き続き金融機関との連絡を密にすると共に、福祉部門とも連絡を密にし、協力を図りながら呼び掛けていきます。



防災リアル訓練

多田 育民議員

横山元市長の裁判における裁判所の和解案は何故消えたか

問 平成25年1月11日付千葉地裁民事第3部の和解案の概要を横山元市長に對しどのように説明しましたか。
答 具体的内容については裁判所から直接連絡される旨伝えました。
問 和解案を断ったのはどのようになつたためですか。
答 市長・副市長、総務部長、企画政策課長が協議の上、市長から断りました。
問 横山元市長と十分協議しなかったのは何故ですか。
答 市としては、判決を求めていくとなつたためです。

北総線運賃を

どのようにして安くするか

問 北総線沿線活性化協議会の今後の動向は。
答 今後も北総線の利用促進に取り組んでいきます。
問 訪日外国人急増とオリピックの機運醸成は。
答 今年2千万人の目標を達成するかも知れないと承知しています。
問 市長の今後の対策は。
答 県や沿線6市の首長とも協力し全力で対応してまいります。どうか議会も一緒にたち向ってください。

視察報告

文教民生常任委員会 平成27年10月29日～30日

1. 熊取町

熊取町では平成24年8月よりNPO法人に委託し、家庭訪問型子育て支援事業「ホームスタート事業」を始めました。就学前の子どもがいて、かつ育児不安やストレスを抱えて孤立しがちな家庭に対し、研修を受けた子育て経験者（ホームビジター）が定期的に訪問することで、悩みの解決をめざす事業です。利用者からは「家では子どもと2人きりで息が詰まりそうだった。一番つらいときに訪問してもらい救われた」「離乳食の作り方を教えてもらい、やっとコツが分かった」等の感想が寄せられています。白井市でも、熊取町などの先進自治体の施策を研究し、NPOや民間の力を活用しながら地域ぐるみで子育て家庭を応援する仕組み作りをしていくことが重要であると感じました。



熊取町

【視察地・視察項目】

- ◎大阪府泉南郡熊取町
子育て対策の推進について
- ◎大阪府泉南市
在宅医療・介護連携推進事業について

2. 泉南市

泉佐野泉南医師会圏域では平成22年「認知症サポート医」が誕生し、その後、医師・ケアマネージャー・地域包括センター・行政等が互いの連携を深めていく取り組み（多職種連携事業）を始めました。「忘れても大丈夫」「安心と」「思いやりの町」の頭文字を取り「WAO（輪を）まつり」を開催。住民を巻き込んで認知症啓発活動の輪が広がっています。“在宅医療には「医療と介護」の連携が不可欠である”との市担当課の熱い思いが伝わってきました。少子高齢化の進展に向け、わが市でも早急に調査研究をしていく必要性を感じました。

視察報告

環境経済常任委員会 平成27年10月28日～29日

1. 米子市

米子市の消防団の現在の団員数は519名で充足率95.4%。そのうち女性が21名おり、女性だけの消防団（女性分団）を組織しています。他の分団は地域ブロックに分かれるのに対して女性分団は市の全域への対応をしています。全団員の応急手当普及員・指導員の資格取得を目標にしており、市民へ講習などを実施しています。また、少年消防クラブも組織されており小学校4年生から6年生を対象として、防火に対する知識や地域における防火啓発、そして消防団に慣れ親しむことができるようにされており、長期的視野に立った団員の育成も行われていました。



境港市

【視察地・視察項目】

- ◎鳥取県米子市
消防団活性化プロジェクトについて
- ◎鳥取県境港市
賑わいを創出するまちづくり・水木しげるロードを中心とした観光振興について

2. 境港市

境港市では観光促進として20年程前から水木しげるロードの整備が継続され、現在では世界中から観光客が訪れる名所となりました。近年は、空き店舗の解消や商店街活性化にも寄与し地域経済発展の重要な役割をはたしています。しかしながら、当初は妖怪という事で反対意見もあり、徐々に理解を広めていく努力もあったそうです。また一定額（100万円）の寄付者の名前を通りのモニュメント等に記載するなど税金に頼らないユニークな整備の資金調達の試みも実施されていました。

議会トピックス

意見交換会の報告

総務常任委員会と国際交流協会 平成28年1月19日

平成4年3月に発足した「白井国際交流協会」は、個人会員約250名（内外国人約30名）、団体会員約30団体、その中の会長を含め5名の役員と活発な活動状況や運営に関する意見交換を行いました。

会の主な活動は、①異文化交流（各国大使講演会、料理教室等）②外国人との交流③地域交流（ダンス&フード・フェスティバル、国際親善ミニサッカー大会等）④語学教室（4か国語）で、年間を通じ13回のイベントと年間約150名が受講する語学教室を開催しています。千葉県内24市にある国際交流協会の現状を比較したところ、白井市は人口割合の会員比率が1番高く、活発な活動が実績につながっている事が伝わってきました。

しかし、事務所の家賃負担が厳しい、スタッフの確保に苦勞している、特に交通費のみ支給のボランティアのためか、日本語講師が他日本語教室に移り受講希望者を受け入れできない状況があった等の課題を伺いました。また、市における外国人市民は現状600～700人いるそうですが、協会から外国人市民への活動のお誘いや周知ができない歯がゆさもお聞きしました。地域に在住している外国人とのコミュニティ形成や生活支援の必要性が伝わり、市としての新たな課題が見えてきました。

文教民生常任委員会と青少年相談員連絡協議会 平成28年1月21日

明るい未来の建設は青少年の健全育成からという趣旨で創設された青少年相談員制度は平成26年に50周年を迎え、市内で委嘱されている相談員は現在31名。なんと親子2代に渡り相談員という方もあり、永年地域に密着して多くの青少年を見守る活動をしていらっしゃるようです。お話くださった6名の相談員さん共通のキーワードは【楽しく&厳しく】子供たちと楽しく触れ合うと同時に、悪いことは悪いときちんと指摘することも活動の秘訣のようです。

市内全域で展開される活動は、テーブルゲームや大声大会などで相談員と楽しく過ごす「おも白井デー」野外カレー調理とウォークラリーを合せた「白井ウォークラリー大会」市内のお寺に宿泊し座禅や掃除を体験する「二日坊主よっ寺っしゃい」もらい湯など地域の方々との連携協力で行われる「通学合宿」第二小の「相談員ポスト」桜台の「ナイトウォーク」など、広範囲で多種多様、非常に工夫されたユニークなものばかりです。議員一同、ひとつひとつ興味深く頭が下がる思いでお話を伺いました。

後継者問題、他団体との交流などの課題もあるそうですが、「全ての苦勞は当日の子供たちの笑顔で報われます」とイベントも多いボランティア活動に目を輝かせて語られるお姿は、とても爽やかで頼もしいものでした。

環境経済常任委員会と消防団本部 平成27年12月11日

白井は在来地区に3つの分団があり、分団は担当地区ごとにいくつかの部で構成されています。消防団本部はその分団を統括する立場です。

消防団はいわゆる常備消防である消防署ではなく、地域の安全は地域で守ることを目標に運営されている在来地区に脈々と根付く非常備消防の組織です。

皆、農業や自営で生活を営みながら訓練し、いざというときは常備消防と共に活動し、交通整理をしたり、鎮火後の後始末をされています。また、夜間に消防車で警鐘を鳴らしながら、ニュータウンの街区を回られているのも消防団の皆さんです。

消防団員数の減少に歯止めがかからないことが一番の問題で、募集をかけても手を挙げてくれず、高齢化が進み悪循環になっているということです。以前は、消防団には入って当然という感じでしたが、農家の継承者問題や、近隣のつながりが薄れている中、消防団に関心をもつ人が減ってきているのが現状です。また、場所によっては水源確保もままならず、いざ火が出ても水をかけられないところがあるということも問題として挙げられました。

ニュータウン地区には自主防災組織はありますが、消防団はありません。ニュータウン地区からも消防団に入ってくれる人がいるといいという意見も出ました。ニュータウン地区と在来地区が、顔を合わせ、理解を深める必要を感じます。

編集後記

昨シーズン、「ノーヒットノラン」の快挙を成し遂げたマリナーズの岩隈久志投手。4月下旬に「故障者リスト」に入り、復帰したわずか1か月後の出来事でした。彼は新聞のインタビューにこう答えています。「4回2アウト。4番打者をあえて四球で塁に出し、打ち取れるイメージがあったら5番打者と勝負した。調子が良かったら逆に、4番打者に突っ込んでいって、打たれていたかもしれない。本調子でなかったからこそ、自分のピッチングに徹することができた」と。まさにピンチをチャンスに変えた勝利でした。白井市としても、今後予想される人口減少に歯止めをかけ、さらに発展させるため、ピンチをチャンスに変えていく発想が期待されます。

（斉藤 智子）

お詫びと訂正

11月15日発行の議会だより（131号）2ページPoint3において、誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

【正】●太字部分を追加

A 今回の補正予算では、定期借地料の債務負担行為が用地取得費になっていることと、不動産鑑定料が加わっています。継続費についてはアドバイザリー業務委託料が5184万1千円でしたが、今回は、5794万1千円で、約600万円増加しています。